

# 第24回JAAS臨床解剖・執刀トレーニング 第3回 タイチュラロンコン大美容外科解剖

非会員及び  
本トレーニングのみ  
1回受講可

Soft cadaver Dissection Workshop & Live Surgery for Cosmetic & Plastic Surgeons in Thailand

2019年11月9日(土) - 10日(日) 11日(月) 早朝帰国 Chula Soft Cadaver Surgical training center in King Chulalongkorn university

**限定18名 募集締切8月30日**

一部 指導医変更のお知らせ 指導医の鎌倉 達郎先生がご事情により今回はご参加できなくなったため、水野 力先生に指導医をお願いすることになりました。鈴木先生、中村先生は変更ありません。

【定員になり次第締切。10検体確保/2人1検体で9検体、指導医用検体1検体】のため募集定員を限定18名とさせていただきます  
(JAAS会員は認定医資格のための履修5単位も重複授与)

(1) 土曜日午後空路バンコクに夕方入国し、前夜のレクチャー開催。(2) 日曜終日タイ人の寄贈検体Soft Cadaver使い、詳細な美容形成に関わる解剖と「眼瞼形成」「鼻形成」「フィラー注入&糸リフト」の施術・執刀シミュレーションを実施。(3) DR 水野 (全顔解剖と眼瞼形成術、形成術セオリー) DR 鈴木 (臨床解剖学からみたフェイスリフト、鼻形成術) DR 中村 (フィラー注入術、糸リフトと解剖組織からみたレイヤー検証) DR Kritsada Kowitwibool (Facial Plastic and Reconstructive解剖学)などをコーチングします。 Dr 水野 Dr 鈴木 Dr 中村 Dr Kritsadaの4人の指導医から修了認定の記念盾を授与します



**Chula Surgical Training Center 王立チュラロンコン大の世界有数の解剖専用トレーニング施設 (解剖架台・照明ユニット80台超) で、圧倒的クオリティの「Soft Cadaver」 (鮮明な組織、血管・神経走行) 使い、実際のオペ感覚で全顔解剖観察、多彩な執刀手技を学ぶ!**

◎王立チュラロンコン大学 Chula Soft Cadaver Surgical training center タイでトップレベルを誇る王立チュラロンコン大学に政府支援のもと設立された同センターは2フロアに80台を超える解剖専用のユニットが設置され、年間300の寄贈検体が確保されている。世界でも有数の規模と設備をもつ解剖センターのセンター長タンサティット医師との交流より2017年の第1回目に続き、JAASアカデミーのミッション団一第2回美容外科解剖・執刀トレーニングを実施することになった。施設設備の充実もさることながら、その独自の保存技術 (thiel solution) によって解剖・執刀実習でもhemo-

rrhageが体感できる解剖センターで、世界でも類を見ない。  
研修4コース (眼瞼、鼻、フェイス、自主) は、事前に「解剖ペア」を編成 ◎指導医: 水野、鈴木、Kritsada 医師 自然な重瞼術 & 下垂修正、眉毛下切開の下垂修正、埋没、最小切開の眼瞼挙筋の縫縮術、目頭切開、下眼瞼経結膜脱脂、切開・経皮的除皺術など ◎指導医: 水野、鈴木、Kritsada 医師 鼻形成 Tip surgery (クローズド & オープン骨移植、耳介軟骨移植、Alar base surgery、シリコン隆鼻術、Hump resection など) ◎指導医: 水野、鈴木、中村、Kritsada 医師 フェイスリフト SMAS 短縮 輪郭形成 骨切り・スレッドリフト、ヒアルロン酸・BOTOX など注入術

## 11月9日(土) プログラム

- ◎ バンコク・スワンナプーム国際空港 到着ロビーPM4:00集合 送迎シャトルで市内ホテル (5星) へ
- ◎ PM6:30-8:30 ホテルカンファレンスルームにて 解剖実習前の講義及び実習班に分かれ事前打ち合わせ 「上眼瞼形成術」「下眼瞼形成術」「フェイスリフト」「鼻形成」「フィラー注入」それぞれの美容解剖学と各種術式、修正症例・初期症例など適応を比較しながら最適なオペレーションを解説 及び解剖の基礎 DR 水野 DR 鈴木 DR 中村 DR Kritsada
- ◎ PM9:00 講師を交えてのWelcome Dinner (タイ・シーフード料理) ホテル泊

## 11月10日(日) プログラム

- ◎ 朝食後、7:30 ロビー集合、送迎車にてChula Soft Cadaver 解剖センターへ

- ◎ AM 9:00 記念撮影・トレーニング準備

- ◎ ~PM12:00 全顔解剖 (血管・神経走行、各Layerなど) による全体実習 (1班) 自主執刀・解剖実習 (2班) 眼瞼形成 DR水野DR鈴木DRKritsadaによる同時進行での手術体験 (執刀プログラム) (3班) 鼻形成DR鈴木DRKritsadaによる同時進行での手術体験 (執刀プログラム) (4班) フェイスリフト、フィラー注入 DR中村DR鈴木 DR水野 DR Kritsadaによる同時進行での手術体験 (執刀プログラム)
- ◎ PM12:00-1:00 昼食・休憩
- ◎ PM1:00-5:00 解剖・執刀トレーニング継続
- ◎ PM5:00 指導医4人より修了認定メダル授与
- ◎ PM5:30 送迎車にて、バンコク・スワンナプーム国際空港へ

## 11月11日(月) 早朝帰国

- ◎ 各自 夜便にて帰国 11月19日(月) 早朝帰国

# 第24回JAAS臨床解剖・執刀トレーニング 第3回 タイチュラロンコン大美容外科解剖

非会員及び  
本トレーニングのみ  
1回受講可

Soft cadaver Dissection Workshop & Live Surgery for Cosmetic & Plastic Surgeons in Thailand

2019年11月9日(土) - 10日(日) 11日(月) 早朝帰国 Chula Soft Cadaver Surgical training center in King Chulalongkorn university

**限定18名 募集締切8月30日** 【定員になり次第締切。10検体確保/2人1検体で9検体、指導医用検体1検体】のため募集定員を限定18名とさせていただきます (JAAS会員は認定医資格のための履修5単位も重複授与)

1回毎の受講で修了

2019年  
11月9日(土) - 11日(月)  
早朝帰国

第24回JAAS臨床解剖・執刀トレーニング  
第3回 タイチュラロンコン大  
美容外科解剖

タイ

修了証



JAASアカデミーではJAAS後援のもと過去23回にわたり開催してきた美容外科解剖・執刀トレーニングは、2019年春季ホーチミン医大、そして秋季開催となる第3回目のチュラロンコン大解剖センターでの美容解剖・執刀トレーニングを実施する運びとなった。2009年からスタートしたJAASアカデミーの解剖実習のミッションは一貫して「アジア人の寄贈検体を使う」ことにこだわり続けていることから、過去行われてきた中国大連、桂林、韓国ソウル、ベトナムホーチミンそしてタイバンコクとところが変われど、アジア人のCADAVER DISSECTIONは変わらない。近年、アメリカなどコーカソイド系の寄贈検体を使った解剖実習もあるが「解剖実習で得られる体験、検証は日常診療、手術に還元していくこと。であるならば日本人の骨格、皮下組織、組織構造などにより近いアジア人の検体を使うことこそ近道」といった声も少なくない。こうした日本の美容外科、美容皮膚科に代るかたちでタイ美容解剖が開催されるが、一方でJAASアカデミー美容解剖ならではの「解剖による観察のみならず執刀シミュレーションにより、明日からの手術や治療に大いに役立つ」点も他に類をみないミッションになることはいままでのみ。

## アジア人のCADAVERを使うことが日常診療に生かす近道 チュラロンコン解剖センターでの「手術解剖」ではhemorrhageも体感

指導にあたる講師陣には、美容解剖、執刀トレーニングにおいて知識、経験値そして高いスキルをもつ、水野 力医師、鈴木 芳郎医師、中村 光伸医師をお招きしながら、現地チュラロンコン大形成外科のKritsada医師にも指導していただく。JAASアカデミー解剖シリーズ恒例となった4班(眼瞼形成、鼻形成、フェイスリフト、注入)に分かれての実習スタイルを踏襲することになる。指導では、丁寧で細かい教え方と「指導医と参加者が同時進行で解剖観察、執刀シミュレーションをする料理教室」さながらの研修スタイルを貫くことは変わらない。現実の患者を触ることなくして手術習得はない、手術を体験せずして前進はない。本アカデミーでとくに大事にしていることである。しかし、現実的には患者に対して実習のように試すことはできない。臨床に携わる医師のこんなジレンマを解決できるのは解剖実習に他ならない。今回の解剖ミッションでは、王立チュラロンコン大学に政府支援のもと設立された解剖トレーニングセンターでの3回目の実施となる。センターは2フロアに80台を超える解剖専用のユニットが設置され、年間300の寄贈検体が確保されている世界でも有数の規模と設備をもつ解剖センターだ。センター長タンサット医師との交流より昨年に続いて美容外科解剖・執刀トレーニングの実施となるが、施設設備の充実もさることながら、その独自な保存技術(thiel solution)によって解剖・執刀実習でもhemorrhageが体感できる解剖センターで、世界でも類を見ない。貴重な寄贈検体を提供いただくチュラロンコン大からのCadaver確保の都合もあり、検体10検体(うち1検体は指導医用)・定員限定18名として募集する。

### アネシス美容クリニック院長 水野 力MD, PhD

美容外科・整形、二重まぶた、デカ目、鼻形成、あご・えら・ほほ・まゆ骨削り、若返り、プチ整形、涙袋形成など多岐にわたる美容医療術を提供するアネシス美容クリニックにあって、水野院長がこだわるのは「低価格治療」をめざすこと。そして確かな技量、経験、整容的なセンスがともなっている治療費の

コストダウンである。宣伝、外観設備費など余計な経費を抑え、その分患者さんに還元していきたいとする水野医師の信念がそうさせている。クリニック名アネシスの語源は、ギリシャ語で「安心」という意味。情報開示、リスク回避のための万全の体制、無痛治療にできる限り配慮し術後のアフターケアを誠実に行うなど、7つの「安心」をクリニックのポリシーに掲げる。

多くの『学会』、『論文』に発表しながらオリジナルの術式を考案する。美容外科に転身する前は「病理医」でもあった水野医師でもあることから解剖学には極めて高い知識があり、2017年、2018年のタイチュラロンコン大解剖実習でも指導医を快くお引き受けいただき、実習中の解剖、執刀トレーニングでは参加医師らに適切なアドバイスを行っている。今回、3回目の指導医となる。近年では愛知医大の柿崎 裕彦教授との共著で「眼瞼形成アトラス」の執筆者でもある。業界では「数多くの論文、学術発表をし続けるアカデミックな医師であり、豊富な手術経験値も備えているながら、非常に謙虚なお人柄」と、患者のみならず業界のドクターからの好感度も高い。案内のとおり2019年夏からはシリーズでDR水野の美容外科・寺子屋塾ライブ講座も始まった。日本美容外科学会専門医、AACS会員、国際美容外科アカデミー認定医、名古屋市立大(医)外科学出身。

### 形成外科・美容外科・美容皮膚科 ドクター S.P.クリニク院長 鈴木 芳郎MD, PhD

フェイスリフトをはじめとする若返り手術には定評があり、SMASリフト、スレッドリフトでは誰もが認めるスペシャリストである。とくに最近では中顔面の若返り手術であるケープルスーチャー法を日本ではじめて開発、治療に応用したことは業界で知らないDRはいない。他方、眼瞼形成、鼻形成も得意としており、痛みのない安心して受けられる手術を行う医師、クリニックとして美容ユーザーから支持をうける。鈴木医師、近年若き後継の医師らにスキル教育を積極的に行うプロジェクトにも参加。客員教授を務める東京医大形成外科・村松一教授や同大人体構造学教室の協力を得ながら、Saturated Salt Solution methodの人体を使ったの顔面手術解剖の検討を進め、いわゆる臨床解剖の教育を始めている。83年東京医大卒、同年形成外科に入局し、84年～85年まで関連病院で研修。86年形成外科の研究医、92年同助手、95年同講師を務めたあと、海老名総合病院形成外科部長に就任、さらに米国などに留学したのち、現クリニックを開業する。1ミリ以下の血管を縫合するような繊細なスキルを必要とするマイクロサージュリーを研さんし、一方形成外科認定医として顔面の解剖、構造を熟知する。数多くの学会発表、学術論文をだし、また「日本人のための美容外科手術」「日本人のためのスレッドリフト利用法」(誠意堂出版)など関連学術雑誌でもその執筆も多い。

### (医) 最匠会 光伸メディカルクリニック院長 中村 光伸MD

整形外科やイン療法でのファイラー注入から、やがて美容皮膚領域のヒアルロン酸注入術を修学。プレオペ用の注入剤だったヒアルロン酸を「プチ整形の治療」として世に広めた一人でもある。ヒアルロン酸を手術部位に注入し患者に具体的にイメージをさせたところが始まりで、患者がヒアルロン酸注入後のラインを見て、「この治療だけでいいです」となり、美容整形としての注入療法が始まった。今や4万症例の美容医療での施術実績を重ね、「シワ1本の改善」など細かなオーダーにも応えている。後継の医師たちにも、年間5回に及ぶヒアルロン酸マンツーマン指導のセミナー「目回り明るく」「唇を若くしく」「凹んだコシカミを美しく」「気になるゴルゴ線をなくす」「まずはクマ退治!」「小顔を際立たせる」など開催。また解剖実習にも積極的に参加して、ファイラー注入や糸リフトにおける施術の検証を借さない。今回はその中村医師を講師として招き、美容皮膚科系のドクターも学べるファイラー、糸リフトテクニックをダミー資材を使ってCADAVERでトレーニングをしていただく。北里大学医学部卒業後、北里大学病院整形外科に入局し、ドイツ・フンボルト大学、台湾・チャンガン大学へと留学。その後北里大学病院整形外科専任講師、救命救急センター整形外科部長を経て、美容クリニックに勤務。その後、現クリニックを開業。

### Division of Facial Plastic and Reconstructive Surgery Chulalongkorn University DR Kritsada Kowitwibool

王立チュラロンコン大学の形成外科、クリニカルインストラクターを務めながら、チュラロンコン大学医学部生に対して教鞭もとる。CHULA SOFT CADAVER SURGICAL TRAINING CENTERでは、センター長 Tanvaa Tansattit医師をサポートする副センター長も務める。タイ国内はもとより、アメリカ、欧州のFacial Plastic and Reconstructive Surgeryの関連学会に多数スピーチとして招へいされ、学術発表をする。



第2回 チュラロンコン大 解剖トレーニングより

- 参加対象 ■美容整形・皮膚科、形成・整形外科、眼科、内科・婦人科系の医師および美容医療併設の歯科医 (JAAS会員・非会員問わずすべて対象)
- 講義・執刀・ライブ供覧 ■9日(土) タイバンコク・スワンナプーム国際空港集合のち送迎シャトルで市内ホテル(5星)へPM6時30分よりレクチャー、10日(日) 終日 2人1組での解剖・執刀トレーニング及び指導10日(日) 夜便にて11日(月) 早朝に各自空港に帰国へ
- 修了認定証発布・資格取得 ■DR水野 DR鈴木 DR中村 DRKritsada連名で終了後、参加者全員に修了記念メダルを授与、JAAS会員には認定医資格履修のための5単位も授与